

■SDGs

一福寿園の SDGs アクションー

～SDGs とは～

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2030年までに世界が達成すべき17の国際目標です。

地球環境の保全、安心して暮らせる社会の実現、経済の健全な発展を、世界のすべての人々が協力して進めるための“共通言語”とされています。

～福寿園と SDGs～

社会福祉法人福寿園は、創設以来掲げてきた「愛と感謝と奉仕」の理念のもと、ご利用者一人ひとりの幸福を追求し、地域社会とともに歩んできました。

私たちは、地域共生社会の実現に向けて、質の高いサービスを提供し、ご利用者・地域の皆様と力を合わせながら、「人の生きる」を共に支える文化を育むことを使命としています。

SDGsが目指す「誰ひとり取り残さない社会」の実現は、福寿園が長年大切にしてきた価値そのものです。

これからも福祉の現場からできる確かなアクションを積み重ね、持続可能な未来の創造に貢献してまいります。

貧困をなくそう



田原福祉グローバル専門学校の学生への奨学金制度や、職員を対象とした生活資金貸付制度を通じて、学びや働く意欲を持つ人が経済的な不安を抱えずに生活を続けられる環境づくりを支援しています。

飢餓をゼロに



地域の子どもたちに温かい食事を提供する「子ども食堂」の運営や、独居高齢者へ安心を届ける配食サービスを通じて、地域の食の支援に取り組んでいます。また、施設では管理栄養士による栄養管理や嚥下機能に配慮した食事づくりを行い、誰もが安全に食べられる食環境を整えています。

すべての人に健康と福祉を



職員の乳がん検診、メンタルヘルス研修などの健康経営を積極的に推進しています。また、福寿園をはぐくむ会「未来」の活動を通じ、地域に小学生の「福祉の心」絵手紙募集や福祉講演会の開催など“思いやり”と“福祉の心”をはぐくむ取り組みを進めています。

質の高い教育をみんなに



福寿園が運営する田原福祉グローバル専門学校では、将来の福祉を担う介護福祉士の養成を進めています。

また、子ども食堂や学習支援事業を通じて、学ぶ機会が十分に得られない子どもたちを支援しています。さらに、小中学生を対象としたキッズボランティア事業や、ガイドヘルプなどの出張授業を通じて、福祉教育にも積極的に取り組んでいます。

ジェンダー平等を実現しよう



女性役職者の登用、法人内託児所の設置、職場への生理用品の常設など、女性が安心して働き続けられる職場環境づくりを推進し、多様なライフスタイルを尊重しています。

安全な水とトイレを世界中に



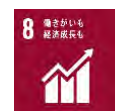
ご利用者が安心して生活できるよう、安全で衛生的な水とトイレ環境を整備しています。バリアフリーに配慮したトイレ設備や、感染症予防を意識した衛生管理を徹底するとともに、また、災害時に備えた水やトイレの確保にも取り組み、地域の福祉拠点として安全・安心な暮らしを支えています。

エネルギーをみんなにそしてクリーンに



ISO14001 環境マネジメントに基づき、電気・ガス・水道などのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。また、敷地内の緑化・植栽を進め、潤いのある生活空間をはぐくんでいます。

働きがいも経済成長も



階層別研修、リーダー研修、介護技術研修などの研修制度、資格取得支援、充実した福利厚生により、職員一人ひとりの成長と働きがいを重視した環境を整えています。

産業と技術革新の基盤をつくろう



見守りシステムの導入、介護記録の ICT 化など、高齢者福祉分野のイノベーションを推進し、質の高いケアを図っています。

人や国の不平等をなくそう



外国人介護士の受入れや、田原福祉グローバル専門学校で学ぶ留学生の支援を通じ、多様な価値観が生かされる組織づくりを進めています。

住み続けられるまちづくりを



地域福祉の拠点として、夏まつりやフェスタなどの地域交流行事の開催、ボランティアの受入れ、配食サービスによる独居高齢者の安否確認など、地域に根ざした活動を行っています。

また、多様な入居施設を整備し、支援を必要とする方の「住まい」を確保することで、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献しています。

つくる責任・つかう責任



厨房での作り過ぎ防止・適量調理により食材廃棄の削減に取り組むとともに、残食が出た場合は職員向け販売を行い、フードロス削減に貢献しています。

気候変動に具体的な対策を



気候変動により増加する豪雨や地震などの災害に備え、ハザードマップをもとにした BCP（事業継続計画）の策定や備蓄品の整備、防災研修の実施など、災害に強い施設づくりを進めています。また、福祉避難所として地域を支える体制づくりに加え、DWAT（災害派遣福祉チーム）の組成にも取り組んでいます。

海の豊かさを守ろう



渥美半島に位置する福寿園の施設では、地域の海を守るために、スタッフが定期的にビーチクリーン活動に参加しています。海岸に流れ着いたゴミを拾いながら、美しい自然を未来へ残すことの大切さを地域の方々と共有しています。

陸の豊かさを守ろう



就労継続支援センター「あい福の里」では、農業を通じて障がい者の就労の場を創出し、地域に根ざした環境づくりに取り組んでいます。

「あいふくファクトリー」で多様なサツマイモの加工品づくりに取り組み、大地の恵みを地域へ届けていきます。

平和と公正をすべての人に



誰もが安心して暮らせる社会の実現に向け、職員・利用者間のハラスメント防止、コンプライアンスの徹底、身体拘束・虐待防止など、尊厳を守るケアの推進に取り組んでいます。

パートナーシップで目標を達成しよう



各施設は所在自治体と「福祉避難所」としての協定を結んでいます。また、介護分野の ICT を推進するため、(株) NAGARA 様と「ICT 活用および音声特化型 AI の社会実装に関する連携協定」を締結しています。